

第2回 評価委員会後の修正箇所一覧

【資料1】

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見(まとめ案)	第2回評価委員会後の修正
学校教育課	キャリア教育推進事業	【加納委員長】中学生にとっての職場体験活動は、進路はもとより自らの中学校生活を見つめ直す大切なきっかけとなっている。今後とも事業所や地域の理解と協力が得られるよう尽力されたい。 【伊室副委員長】職場体験活動は重要に感じます。事業所と協議しながら積極的に進めていくことを望みます。 【上見委員】先進校に学び、各校で情報交換しながら新たな取り組みを進めていただきたい。 【金山委員】職場体験が全ての学校で行なわれていることに評価。体験を通し、地域の産業、生活を学び、将来につなげるように努めてほしい。	○職場体験が全ての学校で行なわれていることを評価したい。 ○<u>中学生にとっての職場体験活動は、進路はもとより自らの中学校生活を見つめ直す大切なきっかけとなっている。</u>今後とも事業所や地域の理解と協力が得られるよう尽力され、職場体験を通し、地域、生活を学び、将来につなげるよう積極的に進められたい。 ○<u>先進校に学び、各校で情報交換しながら新たな取り組みを進められたい。</u>	○中学生にとっての職場体験活動は、進路はもとより自らの中学校生活を見つめ直す大切なきっかけとなっており、全ての学校で行われていることを評価したい。今後とも事業所や地域の理解と協力が得られるよう尽力され、職場体験を通し、地域の産業、生活を学び、将来につなげるよう積極的に進められたい。 ○各校で情報交換しながら新たな取り組みを進められたい。
	外国人児童生徒支援事業	【加納委員長】外国籍生徒の日本語習得状況や日本の生活環境に慣れたか否かは、それぞれに異なる。様々なツールや人材を活用した学習支援と中学校卒業後の進路保障を継続されたい。 【杉澤委員】市内小中学校に子どもが就学している保護者の学校、教育等に関する相談の通訳対応を電話やビデオ通話で行えるタブレットを学校教育課・上野東小・上野西小(その他の学校は学校教育課より貸出)に配置し、学校との懇談や教育相談で不便を生じないよう外国語での相談ができる体制を整えたことは画期的な取り組みだと評価します。一方、保護者の不安を取り除き、円滑なコミュニケーションを進める上でも、通訳を交えて教員と保護者が対面で面談する機会が必要だと考えます。母語が話せる支援員の確保を求めます。 【上見委員】現場では大変ご苦労されている課題だと存じます。先進の学校や自治体に学ぶなどしながら効果的な支援を進めていただきたい。	○市内小中学校に子どもが就学している保護者の学校、教育等に関する相談の通訳対応を電話やビデオ通話で行えるタブレットを学校教育課・上野東小・上野西小(その他の学校は学校教育課より貸出)に配置し、学校との懇談や教育相談で不便を生じないよう外国語での相談ができる体制を整えたことは画期的な<u>取り組み</u>と評価したい。 ○保護者の不安を取り除き、円滑なコミュニケーションを進める上でも、通訳を交えて教員と保護者が対面で面談する機会が必要だと考えます。母語が話せる支援員の確保を望む。 ○外国籍生徒の日本語習得状況や日本の生活環境に慣れたか否かは、それぞれに異なる。様々なツールや人材を活用した学習支援と中学校卒業後の進路保障など効果的な支援を先進事例を取り入れながら継続されたい。	○市内小中学校に子どもが就学している保護者の学校、教育等に関する相談の通訳対応を電話やビデオ通話で行えるタブレットを学校教育課・上野東小・上野西小(その他の学校は学校教育課より貸出)に配置し、学校との懇談や教育相談で不便を生じないよう外国語での相談ができる体制を整えたことは画期的な取組と評価したい。 ○保護者の不安を取り除き、円滑なコミュニケーションを進める上でも、通訳を交えて教員と保護者が対面で面談する機会が必要だと考える。母語が話せる支援員の確保を望む。 ○外国籍生徒の日本語習得状況や日本の生活環境に慣れたか否かは、それぞれに異なる。様々なツールや人材を活用した学習支援と中学校卒業後の進路保障など効果的な支援を先進事例を取り入れながら継続されたい。
	学力向上推進事業	【加納委員長】 中学校3年生で英検3級取得を目指す取組が受験者数も合格者数も増加傾向にあることから、成果が出ていると思われる。英語学習に対する意欲向上につながる指導の工夫を継続されたい。 【伊室副委員長】「家庭での学習時間」を確保する家庭への働きかけが、一層の学力向上になるのではないだろうか。 【杉澤委員】AIアプリやICT機器を活用した学習進度に応じた課題を与える個別最適な学びに加えて、児童生徒が主体的に問題を発見し、自己の問題解決を計画して実行、評価、改善するタイプ(探究学習や自己調整学習)の個別最適な学びの指導ができるようにするための教員研修の実施を望む。このことの必要性は、令和6年度全国学力・学習状況調査結果からも明らかにされています。 【上見委員】授業改善(経験年数の少ない教職員向け)とともに、児童・生徒の学習意欲の向上を図る取り組みを進めていただきたい。	○中学校3年生で英検3級取得を目指す取組が受験者数も合格者数も増加傾向にあることから、成果が出ていると思われる。英語学習に対する意欲向上につながる指導の工夫を継続されたい。 ○AIアプリやICT機器を活用した学習進度に応じた課題を与える個別最適な学びに加えて、児童生徒が主体的に問題を見だし、自己の問題解決を計画して実行、評価、改善するタイプ(探究学習や自己調整学習)の個別最適な学びの指導ができるようにするための教員研修の実施を<u>望む</u>。このことの必要性は、令和6年度全国学力・学習状況調査結果からも明らかにされています。 ○授業改善(経験年数の少ない教職員向け)や「家庭での学習時間」を確保する家庭への働きかけなど、児童・生徒の一層の学習意欲の向上を図る<u>取り組みを進めていただきたい。</u>	○中学校3年生で英検3級取得を目指す取組が受験者数も合格者数も増加傾向にあることから、成果が出ていると思われる。英語学習に対する意欲向上につながる指導の工夫を継続されたい。 ○AIアプリやICT機器を活用した学習進度に応じた課題を与える個別最適な学びに加えて、児童生徒が主体的に問題を見だし、自己の問題解決を計画して実行、評価、改善するタイプ(探究学習や自己調整学習)の個別最適な学びの指導ができるようにするための教員研修の実施を望む。このことの必要性は、令和6年度全国学力・学習状況調査結果からも明らかにされている。 ○授業改善(経験年数の少ない教職員向け)や「家庭での学習時間」を確保する家庭への働きかけなど、児童・生徒の一層の学習意欲の向上を図る取組を進められたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見(まとめ案)	第2回評価委員会後の修正
学校教育課	特別支援教育充実事業	【加納委員長】特別支援教育においては、適切な支援体制のさらなる充実を目指すとともに、児童生徒のニーズに応じた通級指導の実現に尽力されたい。 【上見委員】多様な課題に対応できるよう、きめ細かい支援を進めていただきたい。 【金山委員】支援を要する児童が増加している中、適切な支援の更なる充実、又全ての学校で通級指導ができるように努める。	○特別支援教育においては、適切な支援体制のさらなる充実を目指すとともに、児童生徒のニーズに応じた通級指導をすべての学校で実現できるように尽力されたい。	○特別支援教育においては、適切な支援体制のさらなる充実を目指すとともに、児童生徒及び保護者のニーズに応じた通級指導をすべての学校で実現できるように尽力されたい。
	部活動指導者配置促進事業	【上見委員】指導者の人材確保が本当に難しいと存じます。高齢者(65才～)になっても会社などで働き続ける人が多いです。保護者の協力から始めることぐらいしか思いつきません。	○高齢者になっても会社などで働き続ける人が多い、保護者の協力などを含め、指導者の人材確保を図ることを望む。	○保護者の協力などを含め、指導者の人材確保を図ることを望む。
	不登校児童生徒支援事業	【加納委員長】伊賀市教育支援センターふれあい教室が、不登校児童生徒の居場所であり、さらに、学びを保障する場であることを望む。 また、地理的条件から、当該センター通級が困難な児童生徒においては、在籍校との連携を密にし、担任等に対する指導助言に努められたい。 【伊室副委員長】社会状況が複雑化していく中で、取り残された児童・生徒がいらないような教育環境が必要です。「ふれあい教室」へも行けない児童・生徒をどうするのか。根気強くあたたかい支援をお願いしたい。 【上見委員】現場でご苦労されている課題であると存じます。児童生徒の保護者のニーズに応じてモデル事業を展開されたい。 【金山委員】不登校児童については、学校のみでの対応では解決しにくい事が多い中、外部関係者と連携している対応を評価。さらに継続進めていくように努める。	○伊賀市教育支援センターふれあい教室が、不登校児童生徒の居場所であり、さらに、学びを保障する場であることを望む。 ○地理的条件から、教育支援センター通級が困難な児童生徒においては、在籍校との連携を密にし、担任等に対する指導助言に努められたい。 ○取り残された児童・生徒がいらないような教育環境が必要です。「ふれあい教室」へも行けない児童・生徒をどうするのか。根気強くあたたかい支援を望む。 ○不登校児童については、学校のみでの対応では解決しにくい事が多い中、外部関係者と連携している対応を評価する。継続に努められたい。	○伊賀市教育支援センターふれあい教室が、不登校児童生徒の居場所であり、さらに、学びを保障する場であることを望む。 ○地理的条件から、教育支援センター通級が困難な児童生徒においては、在籍校との連携を密にし、担任等に対する指導助言に努められたい。 ○取り残された児童・生徒がいらないような教育環境が必要である。「ふれあい教室」へも行けない児童・生徒をどうするのか。根気強くあたたかい支援を望む。 ○不登校児童については、学校のみでの対応では解決しにくい事が多い中、外部関係者と連携している対応を評価する。継続に努められたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見(まとめ案)	第2回評価委員会後の修正
生涯学習課・中央公民館・教育集会所	同和問題啓発事業	【上見委員】学習講座開催のために継続していただきたい。あやまの学習講座は30年～40年ぐらい続いていると思います。	○学習講座開催のため周知方法の工夫を継続されたい。	○周知方法を工夫し、学習講座の開催を継続されたい。
	生涯学習推進啓発事業	【伊室副委員長】各市民センターに配属される推進委員は、地域づくり、文化活動の指導者としての自覚を持っていたくため、一層のスキルアップ推進を望みます。 【上見委員】実施割合の80%～90%を目標に取り組まれたい。 【金山委員】講座、教室、事業内容について参加者アンケートを取る。地域に合った今の社会に深い事業を検討する。	○各市民センターに配属される推進委員は、地域づくり、文化活動の指導者としての自覚を持っていたくため、一層のスキルアップ推進を望みます。 ○講座、教室、事業内容について参加者アンケートを取り、地域社会に深く関連する事業を検討していただきたい。 ○実施割合80%～90%を目標に取り組まれたい。	○各市民センターに配属される生涯学習支援員は、地域づくり、文化活動の指導者としての自覚を持っていたくため、一層のスキルアップ推進を望む。 ○講座、教室、事業内容について参加者アンケートを取り、地域社会や今の社会に合った事業を検討されたい。 ○実施割合80%～90%を目標に取り組まれたい。
	たわらや維持管理経費	【加納委員長】たわらや維持管理に関しては、現状に即した指標設定を検討されたい。 【伊室副委員長】展示内容は尊重しますが、地域と協議し、違った方向性について提示する必要があるのではないでしようか。 【上見委員】次期総合計画の見直しで存続も含めて検討されたい。 【金山委員】初瀬街道を始め阿保地区への来訪者を多くしなければ来館者数は増加しないか。	○たわらや維持管理に関しては、現状に即した指標設定を検討されたい。 ○展示内容は尊重するが、地域と協議し、存続も含めて違った方向性について検討されたい。 ○来館者数を増やすため、初瀬街道を始め阿保地区への来訪者を多くする取り組みを検討されたい。	○たわらや維持管理に関しては、現状に即した指標設定を検討されたい。 ○展示内容は尊重するが、地域と協議し、存続も含めて違った方向性について検討されたい。 ○来館者数を増やすため、初瀬街道を始め阿保地区への来訪者を多くする取組を検討されたい。
文化財課	文化財保存経費	【伊室副委員長】(文化財共通まとめ)市民に文化財や歴史に親しむイベント等を積極的に取り組まれたい。 【上見委員】文化財は伊賀市の宝だと思いますので今後も適切な維持管理と価値の維持、市民への周知、また新たな文化財の発掘に努めていただきたい。 【金山委員】数多い文化財の保存、調査への取組みを評価します。引き続き、未指定でも指定に価する文化財の調査を望みます。	○数多い文化財の保存、調査への取組みを評価する。 ○文化財は伊賀市の宝だと思います。今後も適切な維持管理と価値の維持、市民への周知、新たな文化財の発掘、未指定でも指定に価する文化財の調査を望む。	○数多い文化財の保存、調査への取組みを評価する。 ○文化財は伊賀市の宝だと思う。今後も適切な維持管理と価値の維持、市民への周知、新たな文化財の発掘、未指定でも指定に価する文化財の調査を望む。
	文化財保存事業	【杉澤委員】伊賀市には、県指定の貝石山(津市榑原町)と比較しても学術的、文化財的価値が高い貴重な化石(ミエゾウの臼歯や足跡化石等)を産出する古琵琶湖層群の露頭が見られます。これらを県指定候補として調査することを提案します。 【上見委員】所有者・国・県と協議しながら速やかに対処されたい。県内最多の指定文化財ですからご苦労が多いことだと思います。 【金山委員】一般個人の所有文化財を始め、将来にわたって保存、管理のできる対策を検討していほしい。	○伊賀市には、県指定の貝石山(津市榑原町)と比較しても学術的、文化財的価値が高い貴重な化石(ミエゾウの臼歯や足跡化石等)を産出する古琵琶湖層群の露頭が見られます。これらを県指定候補として調査されたい。 ○一般個人の所有文化財を始め、将来にわたって保存、管理できる対策を検討されたい。	○伊賀市には、県指定の貝石山(津市榑原町)と比較しても学術的、文化財的価値が高い貴重な化石(ミエゾウの臼歯や足跡化石等)を産出する古琵琶湖層群の露頭が見られる。これらを県指定候補として調査されたい。 ○個人所有の文化財を始め、将来にわたって保存、管理できる対策を検討されたい。
	文化財施設維持管理経費	【杉澤委員】小中学校社会科の学習教材に位置付け、校外学習等の機会を利用して文化財施設を活用することを提案します。児童生徒が地域の文化財に触れる機会を促進して文化財保護に対する意識を高めることが必要だと考えます。 【上見委員】今後も積極的な活用を努めていただきたい。 【金山委員】文化財施設の保存管理の事業、又イベントなどの活用の事業を評価します。	○文化財施設の保存管理の事業、又イベントなどの活用の事業を評価したい。 ○児童生徒が地域の文化財に触れる機会を促進して文化財保護に対する意識を高めることが必要と考えられることから、小中学校社会科の学習教材に位置付け、校外学習等の機会を利用して文化財施設を活用することを提案します。 ○市民が文化財や歴史に親しむイベント等に今後も積極的に取り組まれたい。	○文化財施設の保存管理の事業、又イベントなどの活用の事業を評価したい。 ○児童生徒が地域の文化財に触れる機会を促進して文化財保護に対する意識を高めることが必要と考えられることから、小中学校社会科の学習教材に位置付け、校外学習等の機会を利用して文化財施設を活用することを提案する。 ○市民が文化財や歴史に親しむイベント等に今後も積極的に取り組まれたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見(まとめ案)	第2回評価委員会後の修正
上野図書館	図書館管理経費	【加納委員長】伊賀市の読み聞かせボランティアグループの活動が、2年連続して文部科学大臣表彰を受けていることに敬意を表する。今後もボランティアの確保と育成に尽力されたい。 【伊室副委員長】子どもたちが身近に本に親しむ機会の充実のためには、「読み聞かせ団体」の存在は大きなものがあると感じます。 ボランティア活動を希望する方々の掘り起こしに努められたい。 読書感想文コンクールは重要に思う。学校との連携を図られたい。 【吹上委員】伊賀市の地域性として、車がないと移動できないことから、各図書館へ出向きにくいようです。来年度からの移動図書館の取り組みや森精機さんとのジョイント図書館は、新しい形の図書館運営であり、期待大です。 【上見委員】今のままで充実を図っていただきたい。妻も読み聞かせボランティアをやっていますが所属しているグループでは高齢化や家族の介護などで活動から離れるメンバーもいるそうです。しかし、やり甲斐があるそうで楽しく活動しているようです。また、退職後の生き甲斐となっているようです。	○伊賀市の読み聞かせボランティアグループの活動が、2年連続して文部科学大臣表彰を受けていることに敬意を表する。 ○子どもたちが身近に本に親しむ機会の充実のためには、「<u>読み聞かせ団体</u>」の存在は大きなものがあると感じます。 ○ボランティアグループでは、高齢化や家族の介護などで活動から離れるメンバーもいることから、ボランティア活動を希望する方々の掘り起こし、確保、育成に尽力されたい。 ○読書感想文コンクールは重要と思うことから学校との連携を図られたい。 ○車がないと移動できない地域性から、各図書館へ出向きにくいようです。<u>来年度からの移動図書館の取り組みや企業とのジョイント図書館は、新しい形の図書館運営であり、期待が大きいと思われる。</u>	○伊賀市の読み聞かせボランティアグループの活動が、2年連続して文部科学大臣表彰を受けていることに敬意を表する。 ○子どもたちが身近に本に親しむ機会の充実のためには、読み聞かせボランティアグループの存在は大きなものがあると感じる。 ○読み聞かせボランティアグループでは、高齢化や家族の介護などで活動から離れるメンバーもいることから、ボランティア活動を希望する方々の掘り起こし、確保、育成に尽力されたい。 ○読書感想文コンクールは重要と思うことから学校との連携を図られたい。 ○車がないと移動できない地域においては、各図書館へ出向きにくいようである。企業とのジョイント図書館や来年度からの移動図書館の取組は、新しい形の図書館運営であり、期待が大きいと思われる。